

PrintPro for i-Spool Option (サーバー) 移行手順書

本手順書は、現在使用している PrintPro for i-Spool Option の設定を別の環境へ移行する方法及び、注意事項を記載しております。

現在お使いの i-Spool Option のバージョンが V2.0x までの場合、通常の導入手順にて V2.4.3 を導入し、I-SPool メインメニューのコンバート機能を使うことにより、移行が可能となります。

別の AS への移行の場合、当製品を使用するためには FTP サーバーの構築、FTP 接続用ユーザーの作成が別途必要となります。

■ 移行手順

PrintPro for i-Spool Option の常駐監視を停止

実行されている場合は、全て終了する。(常駐監視、PC 定義設定など)

- ・現在の常駐監視を停止する
@@ISPL30/@ISPLEND
- ・常駐監視サブシステムを削除する
ENDSBS SBS(@@ISPLSBS) OPTION(*IMMED)
- ・ログ削除サブシステムを削除する
ENDSBS SBS(@ISLOGSBS) OPTION(*IMMED)

既存 V2.10 ~ V2.4.3 のライブラリー @@ISPL30 の名前を一時的に変更する

```
RNMOBJ OBJ(@@ISPL30) OBJTYPE(*LIB) NEWOBJ(@@ISPL30B)
```

提供の @@ISPL30.SAVF を移行先の AS に FTP でアップし、ライブラリーを復元する

例：ライブラリー @@ISPL の @@ISPL30 という SAVF に FTP でアップした場合、
RSTLIB SAVLIB(@@ISPL30) DEV(*SAVF) SAVF(@@ISPL/@ISPL30)
(導入プログラム FTP400SET プログラムを使用し、通常インストールも可能)

設定データを@@ISPL30B(旧バージョン) から V2.4.3 へコピーする

対象ファイルは以下の 4 種類

KANRENFL

```
CPYF FROMFILE(@@ISPL30B/KANRENFL) TOFILE(@@ISPL30/KANRENFL) MBROPT(*REPLACE) FMTOPT(*MAP *DROP)
```

PTNHEDFL

```
CPYF FROMFILE(@@ISPL30B/PTNHEDFL) TOFILE(@@ISPL30/PTNHEDFL) MBROPT(*REPLACE) FMTOPT(*MAP *DROP)
```

PTNMEIFL

```
CPYF FROMFILE(@@ISPL30B/PTNMEIFL) TOFILE(@@ISPL30/PTNMEIFL) MBROPT(*REPLACE) FMTOPT(*MAP *DROP)
```

MKDLTSP

```
CPYF FROMFILE(@@ISPL30B/MKDLTSP) TOFILE(@@ISPL30/MKDLTSP) MBROPT(*REPLACE) FMTOPT(*MAP *DROP)
```

業務メニュー (ISMENUP) や業務ユーザー (ISUSERP) を変更されている場合、
以下のコマンドよりコピーを実施

ISMENUP

```
CPYF FROMFILE(@@ISPL30B/ISMENUP) TOFILE(@@ISPL30/ISMENUP) MBROPT(*REPLACE) FMTOPT(*MAP *DROP)
```

ISUSERP

```
CPYF FROMFILE(@@ISPL30B/ISUSERP) TOFILE(@@ISPL30/ISUSERP) MBROPT(*REPLACE) FMTOPT(*MAP *DROP)
```

以下のデータエリアだけは以前のバージョンのライブラリ (@@ISPL30B) にデータエリア
#PASV、**#LOGSET** が存在した場合にのみ、実行してください。

#PASV

```
DLTDTAARA DTAARA(@@ISPL30/#PASV)
```

```
CRTDUPOBJ OBJ(#PASV) FROMLIB(@@ISPL30B) OBJTYPE(*DTAARA) TOLIB(@@ISPL30)
```

#LOGSET

```
DLTDTAARA DTAARA(@@ISPL30/#LOGSET)
```

```
CRTDUPOBJ OBJ(#LOGSET) FROMLIB(@@ISPL30B) OBJTYPE(*DTAARA) TOLIB(@@ISPL30)
```

#MSG

```
DLTDTAARA DTAARA(@@ISPL30/#MSG)
```

```
CRTDUPOBJ OBJ(#MSG) FROMLIB(@@ISPL30B) OBJTYPE(*DTAARA) TOLIB(@@ISPL30)
```

設定データを追加し、使用するフィールド初期化プログラムを一度だけ実行する。

V2.10 からのバージョンアップ時のみ

CALL @@ISPL30/PSPLC21

待避したライブラリー @@ISPL30B を削除する

DLTLIB LIB(@@ISPL30B)

クライアントの i-Spool スプルー一覧に使用する CCSID を指定する

【5026 環境を指定する場合】

CHGDTAARA DTAARA(@@ISPL30/#CCSIDSET) VALUE('5026')

【5035 環境を指定する場合】

CHGDTAARA DTAARA(@@ISPL30/#CCSIDSET) VALUE('5035')

その他、注意事項

退避した旧ライブラリと新ライブラリが存在する場合、DTAQ の関連付けが正しく行われない現象が発生することがあります。その場合、退避した旧ライブラリ内の SPLDTAQ オブジェクトを削除頂き、新環境の『印刷待ち行列 関連付け登録』(@ISPLENV)にて再度、ご登録下さい。

スプール配信定義情報作成ツール 移行手順書

本手順書は、現在使用している PrintPro for i-Spool Option(スプール配信定義情報作成ツール)の設定を別の環境へ移行する方法及び、注意事項を記載しております。

■ 移行対象 OS

- ・ Microsoft Windows 2000
- ・ Microsoft Windows XP
- ・ Microsoft Windows Vista
- ・ Microsoft Windows 7
- ・ Microsoft Windows 8
- ・ Microsoft Windows 8.1

■ 移行の前に

- ・ 移行先 PC に、「スプール配信定義情報作成」をインストールしてください。
- ・ 「スプール配信定義情報作成」を起動させてください。

■ 移行手順

設定ファイルのバックアップ

以下の移行元 PC のファイルをバックアップしてください

【設定ファイル保存先】

Microsoft Windows 2000 / XP

C:/Documents and Settings/All Users/Application Data/JBCC/iSpool

Microsoft Windows Vista / 7 / 8 / 8.1

C:/Users/(ユーザー)/AppData/Local/JBCC/iSpool/

【バックアップする設定ファイル】

設定ファイル ISPOOL.ini

設定ファイルの取得と移行

移行手順 で取得した設定ファイルを移行先 PC へ移動させてください。

設定ファイル ISPOOL.ini

スプール配信定義情報作成」の停止

移行先 PC の「スプール配信定義情報作成」を停止してください。

スプール配信定義情報作成」の起動

移行先 PC の「スプール配信定義情報作成」を起動してください。

以上